

ARES 許諾キーについて <販売店様向>

- 許諾キーは、納品されます【ライセンス証書】に掲載されております。
- 製品をインストール後、アクティベーションする際に使用します。
- ご使用中のライセンスを管理するために必要なキーとなります。
- メンテナンスの更新・アップグレード等 ご注文時にご提示が必要です。
- 2ライセンス以上を購入される場合はどちらかの選択が必要です。<スタンドアロン版のみ>
- キー発行後、単一キーから複数キー <またはその逆> への変更はできません。

許諾キーの内容をご理解いただいた上でご選択ください。

許諾キー比較	単一キー	複数キー
対 象	スタンドアロン版・ネットワーク版・フレックスクラウド版	スタンドアロン版のみ <IKAZUCHI(雷)ご注文は複数キーにて発行>
特 徴	複数のライセンスを1つのキーで管理 例) 3ライセンス購入⇒1つのキーを発行	ライセンス数と同数のキーで管理 例) 3ライセンス購入⇒3つのキーを発行
メリット	● 複数のライセンスを管理・または利用者が限定されていない場合に便利 - 管理者は使用したい利用者にキーを自由に割り振ることが可能 例) 利用者が限定されていない場合 - ARESのセットアップ時は1つのキーだけで設定できる(組織の活用) インストールガイド 組織の作成を参照 - メンテナンスの更新時は、単一キーの保有ライセンスを一括で実行できる - 管理担当者は管理台数が多い場合でも、各部門にサブリーダーをにおいて管理する事ができる - 会社全体の棚卸の際に便利。<メンテナンス更新等>	● ライセンス数が比較的少ない・または利用者が固定されている場合に便利 - 個々のキーを各担当(使用者)に割りあてられる。(キーと使用者を1対1で管理できる) - 使用者自身でキーの管理が可能。(例: メンテナンス更新等) - ライセンスが1個単位のキーで管理されているため、メンテナンスの更新やアップグレード等の本数調整が可能。
デメリット	● メンテナンス更新や会社組織の変更等時、キーが保有するライセンスの構成が変更できない - メンテナンスの更新やアップグレードは、単一キーが保有するライセンス数単位となる 例) 10ライセンスを単一キーで使用。5ライセンスのみメンテナンス更新 ⇒ 不可 - 単一キー発行後、キーの分割は不可 例) 10ライセンスを単一キーで使用。5ライセンスずつ2つのキーに分けたい ⇒ 不可	● キーの個数が多い場合は管理者の負担が大きくなる場合がある。 - キーの管理上、メンテナンス更新等の漏れも可能性が大きい - 各使用者自身が更新等を実行するケースが発生する - 会社全体の棚卸が煩雑になる。
特記事項	● ネットワーク版・フレックスクラウド版は単一キーにて発行 - 新規購入時3ライセンス以上で発行<追加購入は2本以下で発行可能> ● メンテナンス契約期間(終了日)はキー単位で管理 例) 10ライセンスを1つのキーで使用=終了日はすべて同日 ● ライセンスの追加購入の場合、既存のキーへの追加でなく新規のキーが発行されます ● メンテナンスの更新やアップグレードは、原則既存のキーを継続使用できます ● 期間ライセンスは使用期限内の延長の場合、原則既存のキーを継続使用できます	● ネットワーク版・フレックスクラウド版は複数キーの選択は不可<単一キーにて納品> ● ライセンスの追加購入の場合は、既存のキーへの追加は不可 ● メンテナンスの更新やアップグレードは、原則既存のキーを継続使用できます ● 期間ライセンスは使用期限内の延長の場合、原則既存のキーを継続使用できます ● 単一キーへの変更はできません。

※本紙に記載された内容および製品の仕様・機能は、改良のため予告なく変更させていただく場合があります。

Ver2504-01

